

## 消防船 引退 - 西日本防災システム

2013 02 23

四日市海上保安部で43年間にわたり活動してきた消防船「しよりゆう」が老朽化により3月4日に引退し、後継船とバトンタッチするそうです。海上保安庁の船艇では最古参の船だそうです。「しよりゆう」は1970年3月、コンビナート火災などに対応するため就役しました。全長27.5メートル、110トンで放水銃6基を備えた高さ約20メートルのやぐらを持ち、最大で消防車13台分にあたる毎分2万5800リットルを放水できるんだそうです。尾鷲沖で発生したタンカー衝突火災事故などに出動しました。航行距離はなんと約41万9000キロで地球10.5周分に相当するんだそうです。

新たに配備される後継船の巡視艇「あおたき」は放水銃4基を備えた全長37メートル、125トン。速力25ノット以上と「しよりゆう」の倍近い速さです。建造費は約18億円で、3月21日に配備されるようです。

「しよりゆう」18代目船長(57)は「古い船で不具合も多く、余計に愛着があったし感慨深い。私もあと数年で退職するので一緒に働いてきた仲間だ」と振り返り、「お疲れさん。ありがとう」といわっていたようです。

いつの時代も いずれの職場でも 必ず世代交代は必要なことですし、それにより様々な進化があるのですね。ほんとにご苦労さまでした！



映像はインターネットより



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

